

2023年10月17日
立命館大学
avatarin 株式会社

アバターロボットを活用して、ロイヤル株式会社東京セントラルキッチンでの 食品製造の最前線を学ぶフィールドワークを実施します



立命館大学食マネジメント学部（学部長：天野 耕二、以下「立命館大学」）とANAホールディングス発のスタートアップである avatarin 株式会社（代表取締役 CEO：深堀 昂、以下「avatarin(株)」）は、ロイヤルホールディングス株式会社（代表取締役社長：阿部 正孝、以下「ロイヤル HD」）の協力のもと、東京セントラルキッチンで最先端のアバター技術を活用したフィールドワーク授業を行います。

実施内容は、千葉県船橋市にあるロイヤル HD のグループ会社であるロイヤル株式会社（代表取締役社長：藤田 敦子）の東京セントラルキッチンに設置したアバターロボット「newme（ニューミー）」に、立命館大学食マネジメント学部の学生がびわこ・くさつキャンパスの教室からパソコンを介してアクセスし、製造プロセスや品質管理を含めた食品製造について、実際の現場でロイヤル株式会社の従業員に案内いただきながら学ぶものです。

日本で初めてセントラルキッチンを導入したロイヤル株式会社では、通常、一般向けの工場見学受け入れはしていませんが、アバターロボットを活用した取り組みによって、食を学ぶ学生が食品製造の最前線を学び、どの程度、現場を訪問するのと同じくらいの体験効果が期待できるのか実証研究を行います。

◆実施概要

日 時： 2023年10月26日(木) 13:00-14:30
体 験 場 所： 立命館大学びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市野路東1丁目1-1）
 コーニングハウスⅡ3階「コモンラウンジ」
体 験 者： 立命館大学食マネジメント学部3回生19名
アバター設置場所： ロイヤル株式会社 東京セントラルキッチン（千葉県船橋市高瀬町19番）
※当日の取材は、立命館大学びわこ・くさつキャンパスにおいてお受けします。

◆本取り組みの背景

新型コロナ以降、大学等の教育現場においてフィールドワーク活動に大きな制限が生じるなどの弊害が出ていたことをきっかけに、ITを活用した学びの可能性を模索する中、昨年度、avatarin(株)が開発したnewmeを活用し、オンライン会議システムでは十分に組み込めなかった「フィールドワークへの主体的な参加」の有効性を確認しました。

今回は、産学連携でのフードサービスに関わる学術研究の推進、産業界のマネジメント人材の育成を目指す一般社団法人日本フードサービス協会の研究助成のもと、ロイヤルHDに協力いただいて東京セントラルキッチンでのフィールドワークを実現するに至りました。

立命館大学、ロイヤルHD、avatarin(株)は、最先端技術を通じて大学の教室から主体的にフィールドワークに参加し、外食産業の最前線を体感することで、新たな気づきや発見が促されることを目指します。

以 上

◆お問い合わせ先

・立命館大学広報課 担当：池田
・avatarin 株式会社

TEL：075-813-8300

Tel：03-5542-1815

Mail：pr@avatarin.com

◆avatarin(株)について

avatarin（アバターイン）株式会社は「移動の民主化～すべての人が持続的にいつでもどこでも自由に移動できるように～」を目指したANAホールディングス発のスタートアップです。これまでの移動の概念を見直し、肉体の移動ではなく、あらゆるロボットやモビリティに人の意識、技能、存在感を伝送する新たな移動サービスの普及に取り組んでいます。また、独自開発の通信プロトコルや遠隔AIモジュールなどを通じて、遠隔操作の高速化や遠隔操作からのAI化に挑戦しています。

<https://about.avatarin.com/>

◆avatarin(株)の目指す未来、今後の展開

アバター技術を活用した社会課題解決のビジョンを実現するための鍵となる技術として、「avatar core®（アバターコア）」の独自開発に取り組んでいます。ハードウェアに加え、ソフトウェア、クラウド及びAIを組み合わせることで、超低遅延で大容量の映像や音声、制御データなどをインターネット経由で高速伝送することを可能にするシステムモジュールとして、ロボットやモビリティに搭載し、遠隔制御やAI学習での活用を目指しています。

avatar core®の研究・開発において、現在は2つのプロダクト「newme（ニューミー）」及び「アバターコアハードウェアとソフトウェア」を軸に開発を進めています。

newmeは遠隔で自由に動きまわりながらコミュニケーションをとることができる遠隔AIロボットであり、2021年より水族館や美術館などで運用を始めています。今後は、国内空港をはじめ、海外空港やホテル、病院、役所、駅、コンビニなどサービス案内業務、誘導などが必要な現場を中心として順次展開をしていきます。

アバターコアハードウェアとソフトウェアについては、今後登場するさまざまなロボットや自動運転車、ドローンなどのモビリティ等に搭載していきます。遠隔からの超低遅延リアルタイム制御を実現するとともに、AI学習によって人の能力を拡張することを目指します。

世界ではロボティクスやAIによる人の作業代替を加速させる技術が注目されていますが、avatarin(株)は、人の享受する体験価値の向上に繋がる身体能力拡張のためのロボティクスやAI技術を追求しています。人が必要とする場所へ、年齢を問わず、気軽に移動することを実現するほか、これまでその人ができなかったことをアバターで能力拡張し、できるようにしていく世界を創っていきます。あらゆる人がアバターという持続可能で気軽に誰もが利用できる乗り物で未知なる場所に瞬間移動することができたり、新たな人と出会うことができたり、毎日がワクワクするようなライフスタイルを日本から世界に提案していくことを目指します。



© avatarin Inc.

avatar core®概念図